

医療従事者支援のためのポルトガル語のポッドキャスト開発と実践に関する研究

代表研究者 カレイラ松崎順子 東京経済大学 現代法学部 准教授

1 はじめに

日本には多くの外国人が滞在しており、彼らの社会生活に様々な問題が発生している（レシャード・前里，2008）。医療の現場においても言語問題から医療従事者と意思疎通がうまくいかず、外国人患者が複雑な問題を抱えるケースが多く見られる（長谷川・竹田・月田・白川，2002）。一部の大きな病院では、医療通訳や翻訳システムなど様々な支援が自治体などから得られることが多いが、規模の小さい病院では外国人に対する対策はほとんど施されておらず、言葉もあまり通じないまま医療が行われているのが現状である。しかし、今の日本はほとんどの自治体に様々な国籍の外国人が居住しており、外国人医療の問題は一部の地域の問題だけではなく、日本全体の問題となりつつある。ゆえに、今後医療従事者が必要最低限の外国語をできるようになることは、国際化する日本社会において必要なことであると考え、本研究では、特に、日本に最も多く在住している外国人であるブラジル人に焦点をあて医療従事者が効果的にポルトガル語を学習できる教材を作成した。ところで、語学学習において電気通信技術は e-Learning やモバイルラーニングなど様々な場面において活用されてきた。語学学習では母語話者の発音を多く聞き、「耳から学習する」ことが重要であるため、本研究では音声を聞くことができるポッドキャストに注目し、医療従事者のためのポルトガル語会話を学ぶポッドキャストを作成した。

2 在日外国人のおかれた現状と外国人医療をめぐる状況

2-1 在日外国人人口の推移と他民族化する日本

2011 年末現在における日本国内の外国人登録者数は 2,0708,480 人で総人口の 1.63% に当たる（法務省，2012a）。都道府県別に見ると外国人登録者数が最も多いのは東京都（405,689 人）で、全国の 19.5% を占め、以下大阪府、愛知県、神奈川県、埼玉県、千葉県、兵庫県、静岡県、茨城県、京都府の順で、上位 10 都府県（1,494,629 人）で全国の 71.9% を占める（法務省，2012a）。国籍数は 190 であり、国籍別では、中国（台湾、香港を含む）が 674,871 人で全体の 32.5 パーセントを占め、以下、韓国・朝鮮が 545,397 人（全体比 26.2%）、ブラジル，210,032 人（10.1%）、フィリピン，209,373 人（10.1%）と続いている（法務省，2012a）。特に近年増加が著しいのが「ニューカマー：日本に何世代かにわたり定住する在日韓国・朝鮮人など旧植民地出身者のオールドカマーと対照して使われる」と呼ばれる主にアジア、南米出身の外国人である（李，2005）。なかでも 1990 年代からのブラジル人の増加が顕著である（中萩，2005；李，2005）。

バブル期の 1990 年代、日本政府は産業界からの要請に応える形で、日系人に限り就労を可能とする出入国管理および難民認定法で来日を認める措置を取り、この結果日系外国人労働者が急増した（中萩，2005）。1983 年のブラジル人入国者数が 1,796 人であったのに対し（中萩，2005）、現在では 210,032 人（法務省，2012b）と約 120 倍に増加している。

さらに、彼らが生産年齢人口である 20 歳代から 30 歳代に集中し、結婚、出産という過程の中で永住資格を取得する者が増加している（李，2005）。これは、日本で出生した「ニューカマー」2 世代目の人口が年々増加することを意味するのであり、実際に 1990 年から 2003 年にかけて、15 歳未満のブラジル人は 15 倍以上に増加している（李，2005）。さらに、2000 年以降、「日本人の配偶者等」（李，2005，p.1147）の在留資格で来日した「ブラジル」国籍者で「永住」資格を取得するものが急増した。

2-2 外国人と医療問題

こうした流れに伴い怪我や病気で医療機関を受診する外国人患者も必然的に増加している。滋賀県内の医療機関では、90 年代にかけて外国人患者の来院が増加したとの報告がなされている（高嶋，2005）。群馬県

下で行なわれた医療機関と行政機関におけるアンケート（2003年度）でも外国人の来院が頻繁にあると答えた機関が44、時々あると答えた機関が22あったという報告がなされている（稲沢，2007）。

しかし、現実には日本の医療機関は外国人患者に対応する体制が充分整っているとはいえず（臼井他，2009）、言語の壁や習慣の違いから生じるトラブルも増加している。一例を挙げると長野県ではエイズを発症したタイ人女性が圏内の医療機関で診察を受けたものの、十分な治療が受けられなかったために重症化し、帰国後に死亡し問題となったケースがある（医療タイムス，2009）。また、日本語のコミュニケーションに問題はなくても、救急や重症の怪我を負った場合などは患者がパニックを起こして日本語で正常に会話ができない状況も大いにあり得る。通常の日常会話には問題のない中国残留孤児の60代の男性が、「身元」というわずか一言が分からず辞書を引いて調べたところ公安の身元調査と混同し興奮して話ができなくなったという事例も報告されている（飯田，2007）。細井（2007）は外国人患者が受診する際にまず障害となるのが言葉であると述べている。また、押味（2010）は言葉の壁を持つ患者は予防医療を受ける割合が低く、健康保険に加入していない割合も高いため、入院率が高まり、入院期間が長くなったり、症状を十分に説明できないために余分な医療処置が行われる、また、その反対に、痛みを正確に説明できないために麻酔の量が言葉の問題がない患者に比べて少なかったと報告している（押味，2010）。

バブル期から急増したブラジル人も医療問題に関し例外的な存在ではない。来日するブラジル人の中には、日本の習慣や制度に疎いものが少なくなく、また日本語による日常会話が可能でも、病気になった際の正確な意思疎通は困難なことが多い（中萩，2005）。中萩（2005）は、ブラジル人向けの医療相談、医療通訳の活動を通し、ブラジル人から多く寄せられる日本の医療機関や医師への不安や不満として、医師から納得の得られる説明が得られない、医師による（日本語の）表現があいまいで（「・・・」（病名）だと思えます、「おそらく・・・（病名）でしょう」）説明をされてもかえって不安になる、もっと丁寧に診察してほしい、薬の効用がよく理解できない、自国の服用方法と異なるなどを挙げている。こうした問題に対し、中萩（2005）は「言葉のサポート・システム」（中萩，2005，p.1179）の整備、また、日本の医学教育カリキュラムを見直す必要があるとしている。後者に関しては、医療者が外国人患者をより理解し、スムーズかつ短時間な診察が可能になるように「異文化理解」（中萩，2005，p.1179）「国際医学の知識」（中萩，2005，p.1179）等の科目導入を提案している（中萩，2005）。

2-3 医療通訳の現状

こうした状況を受け、90年代初頭、つまり外国人登録者数が急激に増加した時期から外国人患者と医療従事者のコミュニケーションを仲介する医療通訳者の必要性が叫ばれ始め、各病院、自治体の単位で医療通訳の制度化に向けての取り組みが始まった。宇藤（2007）は医療通訳を利用した受診者と医療従事者に対して行ったアンケートと聞き取り調査から、在日年数が7年以上と長い人でも医療現場での会話には苦勞しており、（医療通訳が）有料でも利用したい（1時間当たり1,000円が最多、5,000円という回答もあり）、また医療従事者の86%が日常的な医療通訳者の配置を求めているという結果を報告している。受診者からは、通訳がいれば医師と直接会話ができるので安心できる、また、医療従事者からは、患者とのコミュニケーションがスムーズに進み、診察時や検査結果の説明を十分にできた、診療時間の短縮や患者の不安軽減につながったなどの肯定的な意見が得られた（宇藤，2007）。

医療通訳者の存在意義は正しい確定診断、治療方針を決定する際に患者の症状やその原因を調べるための検査、その注意事項や治療方法、診断名を分かりやすく説明することで患者と医師・看護師の間に信頼関係が築かれ、スムーズな回復へと導くことにある（細井，2007）。また、外国で病気にかかり不安な気持ちでいる患者にとって母語で話ができることが最大の安心感につながるであろう（細井，2007）。「病気」という不安に加え、「言葉が通じない」という不安を解消してくれるのが医療通訳者である（西野，2005）。高嶋（2007）も指摘するとおり、通訳がいることで患者の早期受信を促進し、疾患の重症化予防にも寄与できる。医療通訳は、聴覚障害者に手話通訳が必要であると同様に、外国人患者とのコミュニケーションを円滑に進めるためには必要な存在であり、患者と病院の双方にとって有益である（高嶋，2007）。しかし、そうした現実に対し日本の医療機関は外国人患者に対応する体制が充分整っているとはいえない（臼井・中村・形山・山内，2009）

2-4 ICT技術を使った多言語対話システム

もう1つの医療現場を支援する解決策として Information and Communications Technology (ICT) 技術を利用した多言語の対話システムがある。たとえば、宮部・藤井・重信・吉野・石田(2008)による医療受付対話支援システムや福島・吉野・重野(2009)による多言語用例対訳共有システムなどがあげられる。その他、

京都市立病院では 2011 年度から「ぶち通訳事業（ICT を活用した多言語医療支援）」として ICT を活用し、多言語で問診を行ったり、機械翻訳、音声合成技術を利用して多言語医療支援を行うシステムを開発・運用している（多文化共生センターきょうと、2012）。

3 本研究の目的

上述した ICT 技術を使ったシステムは、医療の現場に大きな貢献をなすものであるが、このようなシステムはそれらを使用できる場面においてのみ役立つものであり、実際の医療の現場ではその他様々な場面において外国人とコミュニケーションしなければならないことが多い。また、上述したように豊田市など特定の国の外国人が多く居住する地域では医療通訳者が一部の病院に派遣されているが（堤、2007）、その他の地域では費用の問題もあり、外国人の患者に対する具体的な対策がほとんどとられていないのが現状である。ゆえに、ブラジル人が多い地域などでは医療従事者が必要最低限のポルトガル語をできるようになることは、必要なことではないだろうか。

また、外国人が多い地域では自治体で医療従事者のためのポルトガル語などの会話集などを配布したり、インターネット上で公開しているが、それらの多くはカタカナで読み方が書いてあるだけで母語話者の発音を聞けるものが少なく、学習しにくい教材が多い。語学学習では母語話者の発音を多く聞き、「耳から学習する」ことが重要であるため、本研究では音声を聞くことができるポッドキャストに注目し、医療従事者のためのポルトガル語会話を学ぶポッドキャストを作成することにした。

4 医療従事者のためのポルトガル語の会話表現の抽出

本研究では医療従事者の意見を聞きながら、以下のような表現を抽出し、「病院の受け付けで」「診察室で」「バリウム検査で」「症状について（1）」「症状について（2）」「診察後の表現」「次の診察について」「入院・通院について」「眼科で」「耳鼻科で」「歯医者で」「皮膚科で」「薬局で」の 13 に分類した。

病院の受付で

- お医者さんにみてもらいたいのですが。
Gostaria de me consultar com um médico.
ゴスタリヤ チ ム コンスウタル コン ウン メヂコ
- 何科の受診をご希望ですか。
Qual o exame que pretende fazer?
クワウ オ イザミ キ プレテンヂ ファゼル
- 保険書をお持ちですか。
Você trouxe o seguro de saúde?
ヴォセ トロセイ オ セグロ ズ サウヂ
- この病院での受診は初めてですか。
É a primeira vez que vem a este hospital?
エ ア プリメイラ ベス キ ベン ア エスチ オスピタウ
- この紙に住所、氏名、電話番号を記入してください。
Por favor, preencha nesta ficha o seu nome, endereço e número de telefone.
エンデレス エ ヌメロ ズ テレフォニ
- 熱を測ってください。
Tire a temperatura, por favor.
チリ ア テンペラトゥラ ポル ファヴォル
- 名前を呼ばれるまでお待ちください。
Espere até ser chamado.
エスペリ アテ セル シャマドウ
- ラケルさんお入りください。
Sra Raquel, entre, por favor.
セニョラ ハケウ エントウリ ポル ファヴォル

診察室で

- どうしましたか。
O que aconteceu?
ウ キ アコンテセウ
- これから、診察をします。
Vamos começar a consulta.
ヴァモス クメサル ア コンスウタ
- ここを押すと痛いですか。
Está doendo aqui?
エスタ ドエンドウ アキ
- 痛みの状態はどうですか。
Qual a frequência das dores?
クワウ ア フレクエンセシア ダス ドリス
- 痛みはだんだん収まっています。
As dores estão diminuindo.
アス ドリス エスタンウ ゼミノインドウ
- いつからですか。
Desde quando?
デスヂ クワンドウ
- のどを見せてください。
Deixe ver a sua garganta.
デイシ ヴェル ア スア ガルガンタ
- 口を大きく開いてください。
Abra bem a boca.
アブラ ベン ア ボカ
- 血圧を測ります。
Vou-lhe medir as pulsações.
ヴォウリィ メヂル アス プウサソインス
- 袖をまくってください。
Dobre as mangas.
ドブリ アス マンガス
- 服をゆるめ、お腹を出してください。
Afrouxe a roupa e mostre o abdômen.
アフロウシ ア ホウパ イ モストゥリ ウ アブドメン
- 上半身の服を脱いでください。
Tire a camisa, por favor.
チリア カミザ ポル ファヴォル
- 息を大きく吸ってください。
Inspire fundo.
インスピリ フンドウ
- 息を止めてください。
Prenda a respiração.
プレнда ア ヘスピラサンウ
- 息を吐いてください。
Expire.
エスピリ
- ゆっくり呼吸してください。
Respire bem devagar.
ヘスピリ ベン デバガル
- 力を抜いてください。
Relaxe.

ヘラシ

- 横になってください。
Deite-se.
デイチセイ
- ここにうつぶせに寝てください。
Por favor deite-se aqui de barriga para baixo.
ポル ファヴォル デイチセイ アキ ズ バヒガ パラ バイシュ
- ここに仰向けに寝てください。
Por favor deite-se aqui de barriga para cima.
ポル ファヴォル デイチセイ アキ ズ バヒガ パラ セイマ

バリウム検査で

- 動かないでください。
Não se mexa.
ナンウ セイ メシヤ
- 飲み込まずに、口に含んでください。
Conserve na boca sem engolir.
コンセルヴィ ナ ボカ セン エングリル
- 一気に飲んでください。
Beba de uma só vez.
ベバ ズ ウマ ソ ベス
- 服を着てください。
Pode vestir a roupa.
ポヂ ヴィスチル ア ホウパ
- 食欲はありますか。
Tem apetite?
テン アペチチ
- まったくありません。
Não tenho nenhum apetite.
ナンウ テニユ ネニユン アペチチ

症状について(1)

- おなかが痛いです。
Sinto dores na barriga.
セイントウ ドリス ナ バヒガ
- 頭が重い感じがします。
Sinto a cabeça pesada.
セイントウ ア カベサ ペザダ
- しびれるところがあります。
Sinto dormência.
セイントウ ドウルメンセイア
- 言葉がうまく話せないのです。
Tenho dificuldades em falar.
テニユ ズフィクウダヂス エン ファラル
- 意識がなくなります。
Tenho desmaios.
テニユ デズマイウス
- 胸焼けがします。
Sinto queimação, azia.
セイントウ ケイマサンウ アゼィア
- もたれる感じがします。

Sinto indigestão.

セイントウ インヂジェスタンウ

- おなかが重い感じがします。

Estou com estômago pesado.

- エストウ コン エストマグ ペザドウ熱があります。

Tenho febre.

テニユ フェブリ

- 目眩がします。

Sinto tonturas.

セイントウ トントウラス

- 痛いところがあります。

Sinto dores.

セイントウ ドリス

- のどが痛いのです。

Tenho dores de garganta.

エニユ ドリス ゼ ガルガンタ

症状について(2)

- 腫れているところがあります。

Está com inchaço.

エスタ コン インシャス

- 吐き気がします。

Sinto náuseas.

セイントウ ナウゼィアス

- 食べ物を吐きました。

Vomitei.

ヴォミテイ

- 黒っぽい色の血を吐きました。

Vomitei sangue escuro.

ヴォミテイ サンギ エスクル

- 血が混ざった便が出ました。

Fiz fezes com sangue.

フィス フェゼィス コン サンギ

- 便が出る時痛いのです。

Sinto dor ao eliminar as fezes.

セイントウ ドル アウ エリミナル アス フェゼィス

- 便秘が続きます。

Fico com prisão de ventres contínua.

フィク コン プリザンウ ゼ ヴェントウリス コンチヌア

- 動悸がします。

Sinto palpitações.

セイントウ パウピタソンイス

- 息切れがします。

Sinto falta de ar.

セイントウ ファウタ ゼ アル

- 内出血しているところがあります。

Está com hemorragia interna.

エスタ コン エモハジア インテルナ

診察後の表現

- 輸血をします。
Fazer transfusão de sangue.
ファゼル トウランスフザンウ チ サンギ
- ギブスをします。
Engessar.
エンジェサル
- コルセットをします。
Usar colete ortopédico.
ウザル コレチ オルトペヂク
- リハビリをします。
Fazer fisioterapia.
ファゼル フィゼイオテラピア
- 治療は必要ありません。
Não há necessidade de tratamento.
ナンウ ア ネセセイダヂ チ トウラタメントウ
- 薬で治療します。
Tratamento será feito com a ajuda de remédios.
トウラタメントウ セラ フェイトウ コン ア アジュダ チ ヘメヂウス
- 院内薬局で薬をもらってください。
Receba os remédios na farmácia do hospital.
ヘセバ ウス ヘメヂウス ナ ファルマセシア ド オスピタウ
- 注射で治療します。
Tratamento através de injeção.
トウラタメントウ アトゥラヴェス チ インジェサンウ
- 点滴で治療します。
Tratamento através de soro.
トウラタメントウ アトゥラヴェス チ ソル
- 手術をします。
Fazer cirurgia.
ファゼル セイルルジア

次の診察について

- 次はいつ来ればいいですか。
Quando posso voltar?
クワンドウ ポス ヴォウタル
- 3月4日に来てください。
Volte no dia 4 de março.
ヴォウチ ヌ ギア クリトゥル チ マルス
- 何時がいいですか。
A que horas a senhora prefere?
ア キ オラス ア セニョラ プレフェリ
- 午前10時にお願いします。
De preferência às 10 horas da manhã.
チ プレフェレンセシア アス デス オラス ダ マニャン
- 次回からはこの診察券を必ず出してください。
Apresente este cartão sempre quando voltar.
アプレゼンチ エスチ カルタンウ センプリ クワンドウ ヴォウタル
- お大事に。
Por favor, cuide bem da sua saúde.
ポル ファヴォル クイヂ ベン ダ スア サウヂ

入院・通院について

- 入院が必要です。
Será necessário internação hospitalar.
スラ ネセサリウ インテルナサンウ オスピタル
- 通院が必要です。
Será necessário fazer tratamento ambulatorial.
スラ ネセサリウ ファゼル トウラタメントウ アンブラトリアウ
- 毎日来てください。
Venha todos os dias ao hospital.
ベニャ トドウス ウス ギアス アウ オスピタウ
- 薬が終わったら来てください。
Volte para nova consulta quando terminar os remédios.
ボウチ パラ ノバ コンスウタ クワンドウ テルミナル ウス ヘメヂウス
- 病院を紹介しますから、これを持って受診してください。
Vou apresentá-lo ao hospital. Leve isto e faça a consulta.
ヴォウ アプレゼンタル アウ オスピタウ レヴィ イストウ イ ファサ ア コンスウタ

眼科で

- 目が乾燥します。
Sinto os olhos secos.
セイントウ ウス オリユス セクス
- 視力検査をします。
Fazer exame de acuidade visual.
ファゼル エザミ ギ アクイダヂ ヴィズアウ
- 見えたマークを次のうちから選んでください。
Aponte a marca que conseguiu enxergar dentre as que foram mostradas.
アポンチ ア マルカ キ コンセギウ エンシエルガル デントウリ アス キ フォランウ
モストウラダス
- 目が疲れるのですが。
Tenho vista cansada.
テニュー ビスタ カンサダ
- 目がかゆいのです。
Tenho coceira nos olhos.
テニュー コセイラ ヌス オリユス
- 物がよく見えないのです。
Não consigo enxergar direito.
ナンウ コンセイグ エンシエルガル ギレイトウ
- 物が二重に見えます。
Tenho visão dupla.
テニュー ヴィザンウ ドウプラ
- 目の前に黒い点が見えるのです。
Enxergo pontos pretos.
エンシエルグ ポントウス プレトウス

耳鼻科で

- 鼻血が出るのです。
Estou com hemorragia nasal.
エストウ コン エモハジア ナザウ
- 鼻水が出るのです。
Tenho secreção nasal.
テニュー セクレサンウ ナザウ

- 鼻が詰まるのです。
O nariz está entupido.
ウ ナリシュ エスタ エントウピドゥ
- においを感じないのです。
Não sinto cheiro algum.
ナンウ セイントウ シェイル アウグン
- 耳の中が痛いのです。
Sinto dor no ouvido.
セイントウ ドル ヌ オウヴィドゥ
- 耳の中がかゆいのです。
Tenho coceira no ouvido.
テニュー コセイラ ヌ オウヴィドゥ
- 耳鳴りがするのですが。
Sinto o ouvido zumbir.
セイントウ ウ オウヴィドゥ ズンビル
- 音がよく聞こえないのです。
Não ouço direito.
ナンウ オウス チレイトウ
- 聴力検査をします
Fazer audiometria, exame de acuidade auditiva.
ファゼル アウヂオメトゥリア エザミ チ アクイダチ アウヂチヴァ
- 聞こえたらどちらかの手をあげて知らせてください。
Levante uma das mãos quando ouvir algum ruído.
レヴァンチ ウマ ダス マンウス クワンドゥ オウヴィル アウグン フイドゥ

歯医者で

- 歯がひどく痛みます。
Está doendo muito os dentes.
エスタ ドウエンドゥ ムイントウ ウス デンチス
- どの歯が痛みますか。
Que dente dói?
キ デンチ ドイ
- 虫歯ですね。
Está cariado.
エスタ カリアドゥ
- この歯の神経をとります。
Vou tirar o nervo deste dente.
ヴォウ チラル ウ ネルヴ デスチ デンチ
- この歯を抜かなければなりません。
Este dente tem que ser arrancado. (extraído)
エスチ デンチ テン キ セル アハンカドゥ (エストウライドゥ)
- 義歯を入れる必要があります。
É necessário pôr uma prótese.
エ ネセサリウ ポル ウマ プロティゼイ

皮膚科で

- あざができました。
Theho equimose.
テニュー エキモゼイ
- シミができました。
Tenho nódoa.

- テニユ ノドア
かゆいのです。
Tenho coceira.
テニユ コセイラ
- あまり患部を搔かないようにしてください。
Tente não coçar o local afetado.
テンチ ナンウ コサル ウ ロカウ アフェタドゥ
- 発疹ができました。
Tenho erupção cutânea.
テニユ エルプサンウ クタニア
- 湿疹ができました。
Tenho eczema.
テニユ エキゼマ
- やけどしました。
Tive queimadura.
チヴィ ケイマドゥラ

薬局で

- 風邪薬がほしいのですが。
Queria um remédio para resfriado.
ケリア ウン ヘメヂウ パラ ヘスフリアドゥ
- 鎮痛剤はありますか。
Tem analgésico?
テン アナウジェゼイク
- この処方箋の薬をください。
Dê-me remédio conforme a receita.
デミ ヘメヂウ コンフォルミ ア ヘセイタ
- どんな症状ですか。
Que sintomas tem?
キ セイントマス テン
- せきがでるのですが。
Tenho tosse.
テニユ トセイ
- くしゃみが出ます。
Espirra.
エスピハ
- 一日に3回飲んでください。
Tome o remédio três vezes ao dia.
トミ ウ ヘメヂウ トウレス ヴェゼス アウ ギア
- 食前に服用してください。
Tome o remédio antes da refeição.
トミ ウ ヘメヂウ アンチス ダ ヘフェイサンウ
- 薬は毎食後に服用してください。
Tome o remédio após cada refeição.
トミ ウ ヘメヂウ アポス カダ ヘフェイサンウ
- 食後30分以内に服用してください。
Tome o remédio dentro de 30 minutos após a refeição.
トム ウ ヘメヂウ デントウル ギ トウリンタ ミヌトウス アポス ア ヘフェイサンウ
- 湿布を患部に貼ってください。
Coloque a compressa na parte lesada.
コロキ ア コンプレサ ナ パルチ レザダ

- 軟膏を患部に塗ってください。
Aplique a pomada na parte lesada.
アプリキ ア ポマダ ナ パルチ レザダ
- 眠くなることがあります。車は運転しないでください。
O remédio pode dar sonolência. Não dirigir após ingerí-lo.
ウ ヘメヂウ ポヂ ダル スノレンセシア ナンウ ギリジル アポシュ インジェリル
- 薬で治療している間は、アルコール類を飲まないでください。
Não ingerir bebida alcólica enquanto estiver tomando o remédio.
ナンウ インジェリル ベビダ アウコリカ エンクワントウ エスチヴェル トウマンドウ ウ
ヘメヂウ
- 症状がよくなっても指示された期間はきちんと飲み続けてください。
Tomar o remédio durante o período prescrito pelo médico, mesmo que já se sinta melhor.
トマル ウ ヘメヂウ ドウランチ ウ ペリオドゥ プレスクリトゥ ペル メヂク メズモ
キ ジャ セイ セインタ メリョル
- 冷蔵保存してください。
Guardar o medicamento na geladeira.
グワルダル ウ ムヂカメントウ ナ ジェラデイラ
- 涼しいところに保管してください。
Guardar o medicamento em local fresco e arejado.
グワルダル ウ メヂカメントウ エン ロカウ フレスク イ アレジヤドゥ
- 光に当たらないように保管してください。
Guardar o medicamento em local protegido da luz e do calor.
グワルダル ウ メヂカメントウ エン ロカウ プロテジドゥ ダ ルス イ ドウ カロル

5 ポッドキャストの作成

最初に、上記で抽出した表現を日本語とポルトガル語で交互に読んだポッドキャストを作成した。作成したポッドキャストを医療従事者に使用してもらった結果、以下のような意見が寄せられた。

- ポルトガル語が速すぎて聞き取れない。
- 1つ1つの単語を学習したい。
- 音楽などがあったほうがいいのではないか。

これらの意見を参考にして、ポッドキャストを以下のように作り直した。

- そのセクションで学ぶ表現の中から重要単語を最初に学習できるようにする。
- 日本語の後に、ポルトガル語を1単語ずつゆっくりと発音してもらい、その後に通常の速さで発音する。
- 聞きやすくするため音楽を挿入する。

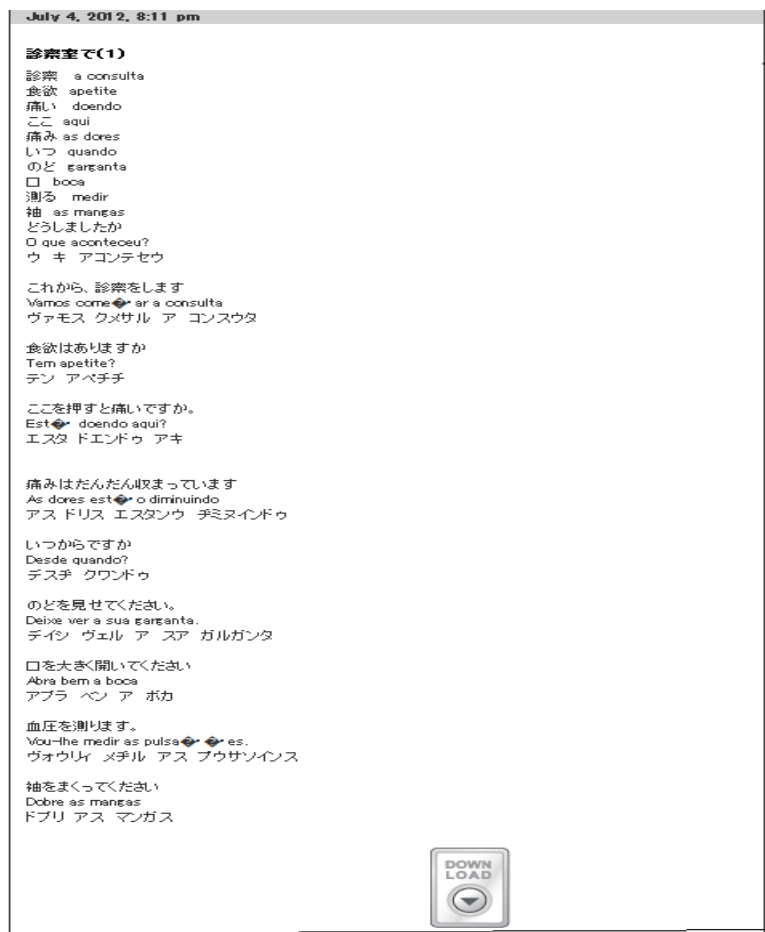


図1 医療従事者のためのポルトガル語のポッドキャスト

図1は作り直したポッドキャストである (<http://www.voiceblog.jp/carreira/>)。最初に重要単語が日本語→ゆっくりのポルトガル語→通常の速さのポルトガル語で読まれ、次に会話表現が日本語→ゆっくりのポルトガル語→通常の速さのポルトガル語が読まれる。下の DOWN LOAD というボタンを押すと音声は聴けるようになっており、毎回異なる音楽を背後に流すようにした。

おわりに

ブラジル人が多い地域（群馬県太田市・静岡県磐田市・愛知県豊田市など）において本ホームページのことを病院や国際交流関係の団体に周知してもらい、フィードバックをもらいながらさらなる改善を続けていく予定である。

【参考文献】

- 飯田奈美子 (2007). 「2. 医療通訳における文化的背景の理解—事例から考える care の知識とは」『医療通訳入門』連利博監修. 東京: 松柏社
- 稲沢正士 (2007). 「外国人患者の医療と通訳 レベル1から始まる医療通訳」『看護』59, 10, 50-53.
- 医療タイムス (2009). 「急増する外国人患者 医療通訳の需要高まる」『医療タイムス』1913, 6-11.
- 白井由行・中村 信・形山 優子・山内芳忠 (2009). 「岡山医療センターにおける医療通訳システムの構築の試み」『医療』63, 5, 322-326.
- 宇藤美帆 (2007). 「鈴鹿中央総合病院における医療通訳パイロット事業の実施」『文化連情報』351, 46-49.
- 押味貴之 (2010). 「外国人患者受け入れにおける言葉の壁」『日大医学雑誌』69, 5, 282-286.
- 高嶋愛里 (2005). 『在日外国人支援活動 : 京都における「医療通訳システムモデル事業」』『国際保健支援会』2, 16-23.

- 高嶋愛里(2007).「外国人患者受診時にパートナーとなる「通訳者」への通訳環境整備を」『看護』59, 10, 58-60.
- 多文化共生センターきょうと(2012).「ふち通訳事業(ICTを活用した多言語医療支援)」(オンライン)入手先<<http://www.tabunkakyoito.org/%E3%81%B7%E3%81%A1%E9%80%9A%E8%A8%B3-ict>>(入手2012-08-02)
- 堤健造「外国人労働者とその家族への医療支援—愛知県豊田市の事例を中心に—」『レファレンス』673号, 2007.2, 68-69.
- 中萩エルザ(2005).「4. ブラジル人診療のポイントと留意点」『小児科臨床』第58巻増刊号, 1174-1180.
- 西野かおる(2005).「医療通訳—米国に学ぶ事と今後の課題」『国際保健支援会』2, 7-15.
- 福島拓・吉野孝・重野亜久里(2009).「多言語用例対訳共有システム TackPad の評価機能の実現と評価」『情報処理学会研究報告. GN』3, 121-126
- 長谷川智子・竹田千佐子・月田佳寿美・白川かおる(2002).「医療機関における在日外国人患者への看護の現状」『福井医科大学研究雑誌』3, 49-55.
- 法務省(2012a).「平成23年末現在における外国人登録者統計について」2012-02-22(オンライン), 入手先<http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00015.html>(入手2012-07-24)
- 法務省(2012b).「平成23年における外国人入国者数及び日本人出国者数について(確定番)」2012-03-29(オンライン), 入手先<http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00017.html>(入手2012-07-24)
- 細井陽子(2007).「看護部と専任通訳職員との連携 他施設とのネットワークづくりも必要」『看護』59, 10, 54-57.
- 宮部真衣・吉野孝・重野亜久里(2009).「外国人患者のための用例対訳を用いた多言語医療受付支援システムの構築」『電子情報通信学会論文誌. D, 情報・システム』92, 6, 708-718.
- 李節子(2005).「1. 在日外国人の母子保健医療の現状と課題—外国人の人口動態統計の分析から—」『小児科診療〔月刊〕』第58巻増刊号, 1145-1161.
- レシャードカレド・前里和夫(2008).「在日外国人の保健医療—問題と対策」『国際保健医療』23, 15-17.

〈発表資料〉

題名	掲載誌・学会名等	発表年月
日本の医療通訳システムの現状と今後の展望	東京未来大学研究紀要 5, 21-19	2012年3月
Creating a Podcast for Healthcare Professionals –Learning Portuguese–	11th Annual Hawaii International Conference on Education	2013年1月7日
日本における外国人医療と言語問題(仮称)	『外国語は日本語だけか』(仮称) くらしお出版	出版予定 2014年2月